



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日
東

上場会社名 株式会社ケアサービス 上場取引所
 コード番号 2425 URL <https://www.care.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 俊晴
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 木高 毅史 (TEL) 03-5753-1170
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,337	3.6	42	16.9	44	20.3	23	△55.7
2023年3月期第1四半期	2,257	2.3	36	△37.5	37	△43.2	53	30.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 31百万円(△55.7%) 2023年3月期第1四半期 61百万円(52.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.22	—
2023年3月期第1四半期	14.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,458	2,294	66.3
2023年3月期	3,510	2,316	66.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,294百万円 2023年3月期 2,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,010	8.4	541	25.5	539	13.3	341	5.5	90.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	4,200,000株	2023年3月期	4,200,000株
2024年3月期1Q	406,761株	2023年3月期	406,761株
2024年3月期1Q	3,793,239株	2023年3月期1Q	3,793,239株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調にあるものの、ウクライナ情勢の緊迫化や世界的な金融引き締め等により、エネルギー価格の上昇、前年度より継続するインフレの長期化など先行きは依然として不透明な状況となっております。

介護業界におきましては、高齢化率が年々上昇し、介護サービスの需要はますます高まっておりますが、サービスを担う人材を適時適切に確保することは非常に難しく、人件費及び採用コストの上昇が続いており、介護人材の採用と定着が引き続き介護事業者の大きな課題となっております。

このような状況の下、当社グループは「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスを提供するための基盤構築を引き続き図ってまいりました。

新卒の採用人数拡大、給与水準の引き上げ、研修・教育を重点的に行い、将来を担う社員の育成強化の為に、積極的な人材育成への投資を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,337百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は42百万円（前年同四半期比16.9%増）、経常利益は44百万円（前年同四半期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円（前年同四半期比55.7%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

(在宅介護サービス事業)

当事業におきましては、デイサービスがコロナ収束により売上が緩やかに回復したものの、介護事業全体での採用強化、教育研修の拡大により人件費は増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,740百万円（前年同四半期比3.5%増）、セグメント利益は109百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

(シニア向け総合サービス事業)

当事業におきましては、エンゼルケアサービスにおいて、葬儀の在り方が変化し、湯灌などの引き合いが強い中、さらなるサービス品質向上に取り組み施行件数が増加するなど、国内、国外（上海）共に好調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は597百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は100百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より51百万円減少し、3,458百万円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,670百万円（前連結会計年度末2,705百万円）となり、34百万円減少しました。売掛金15百万円の増加に対し、現金及び預金45百万円の減少が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、788百万円（前連結会計年度末805百万円）となり、17百万円減少しました。有形固定資産の建物（純額）の減少4百万円、その他（純額）の減少4百万円、無形固定資産ののれんの減少3百万円、その他の減少2百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、878百万円（前連結会計年度末906百万円）となり、28百万円減少しました。未払費用223百万円の増加に対し、未払法人税等の減少139百万円、賞与引当金の減少121百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、285百万円（前連結会計年度末287百万円）となり、1百万円減少しました。退職給付に係る負債5百万円増加、その他6百万円の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,294百万円（前連結会計年度末2,316百万円）となり、21百万円減少しました。利益剰余金29百万円減少及び為替換算調整勘定7百万円増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197,728	1,152,610
売掛金	1,411,554	1,427,497
その他	96,178	90,809
貸倒引当金	△347	△350
流動資産合計	2,705,114	2,670,567
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	163,113	158,724
その他（純額）	174,623	170,007
有形固定資産合計	337,737	328,732
無形固定資産		
のれん	22,099	18,207
その他	41,107	38,316
無形固定資産合計	63,206	56,524
投資その他の資産		
敷金及び保証金	207,852	207,114
その他	196,814	195,938
貸倒引当金	△187	△220
投資その他の資産合計	404,479	402,832
固定資産合計	805,423	788,088
資産合計	3,510,537	3,458,656

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,703	136,650
1年内返済予定の長期借入金	12,530	32
未払費用	285,764	508,865
未払法人税等	174,892	35,663
賞与引当金	154,241	33,233
その他	146,672	163,966
流動負債合計	906,804	878,410
固定負債		
退職給付に係る負債	203,233	208,395
その他	84,306	77,515
固定負債合計	287,540	285,911
負債合計	1,194,344	1,164,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	2,119,036	2,089,533
自己株式	△148,231	△148,231
株主資本合計	2,314,005	2,284,501
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,187	9,833
その他の包括利益累計額合計	2,187	9,833
純資産合計	2,316,192	2,294,334
負債純資産合計	3,510,537	3,458,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,257,514	2,337,973
売上原価	2,012,118	2,106,584
売上総利益	245,395	231,389
販売費及び一般管理費	208,676	188,455
営業利益	36,719	42,933
営業外収益		
受取保険金	-	4,833
補助金収入	2,031	2,310
助成金収入	4,367	1,214
その他	1,751	824
営業外収益合計	8,149	9,183
営業外費用		
支払利息	855	837
為替差損	6,350	6,252
その他	451	250
営業外費用合計	7,658	7,339
経常利益	37,211	44,776
特別利益		
受取和解金	61,428	-
特別利益合計	61,428	-
税金等調整前四半期純利益	98,640	44,776
法人税等	45,323	21,175
四半期純利益	53,316	23,601
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,316	23,601

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	53,316	23,601
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,184	7,645
その他の包括利益合計	8,184	7,645
四半期包括利益	61,501	31,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,501	31,247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。